

自由と放縦は別のもの

近成昌一先生

自由と放縦は別のもの。自由とは、自己の意思で行動する権利を指すが、放縦は、他者の権利を侵害する行為を指す。教育現場では、自由と放縦を混同して扱われることが多く、これは教育の本質を損なう。自由は責任と伴って行使されるべきであり、放縦は責任を伴わない。教育者は、生徒の自由を尊重しながら、放縦を抑制する役割を果たすべきである。

自他の敬愛

松本寿男先生

自他の敬愛。人は他者の存在を尊重し、互いに敬愛し合ふべきである。自己の利益を追求するだけでなく、他者の利益も考慮する。敬愛は、自己の成長と他者の成長を促進する。教育現場では、生徒同士、先生と生徒との間に敬愛の心を持って接することが大切である。敬愛は、平和な社会を築くための基盤となる。

先生の声

先生の声。教育現場で働く先生たちの声。先生たちは、日々生徒の成長を願い、努力を怠らぬ。先生たちの声は、生徒にとっての指針となる。先生たちは、自己の専門性を高め、生徒に質の高い教育を提供する。先生たちの声は、社会の未来を形作る重要な要素である。

風が立つ

池内登先生

風が立つ。春の訪れを感じ、心は躍る。風は、変化の象徴である。新しい季節、新しい出会い、新しい挑戦。風が吹くたびに、心は大きく揺れる。教育現場でも、変化は避けられない。先生たちは、変化に対応し、生徒の成長を支える。風が吹くとき、心は自由になる。

今後考えるべき問題点

育たない自治会活動

自治会活動の不振。自治会は、地域社会の発展を支える重要な組織である。しかし、近年自治会活動は不振を来している。原因は、若者の参加不足、活動内容の単調さなどにある。自治会活動を活性化させるためには、若者の参加を促し、多様な活動を行う必要がある。自治会活動は、地域社会の絆を強め、住民の生活の質を向上させる役割を果たす。

遅刻は芦高のガン

ルーズな学校生活

遅刻は芦高のガン。遅刻は、学校生活における大きな問題点である。遅刻は、授業の進捗に影響を与え、学習の効率を低下させる。遅刻の原因は、起床時間の遅さ、準備不足などにある。遅刻を減らすためには、起床時間を早め、授業開始前に準備を整える必要がある。遅刻は、学校生活の規律を乱す要因となる。

教師像に失望させないで

協力性に欠けている先生

教師像に失望させないで。教師は、生徒の成長を導く重要な存在である。しかし、近年教師像に失望を感じる声が増えている。原因は、教師の協力性に欠けている点にある。教師は、生徒の個性を尊重し、協力的な態度で接する必要がある。教師は、自己の専門性を高め、生徒の成長を支える役割を果たす。教師像に失望させないためには、協力的な態度で接し、生徒の成長をサポートする必要がある。

編集後記。本誌の発行にあたって、多くの方からご意見をいただきました。ご意見を参考に、本誌の質を向上させるために努めます。また、読者の皆様にもご意見をいただければ幸いです。本誌は、学校生活に関する様々な問題点を取り上げ、読者の皆様に役立つ情報を提供することを目的としています。読者の皆様のご支持をよろしくお願いいたします。